Be. Okinawa

美しい自然と温かい人たちに囲まれて、
～本来の自分を取り戻せる島～

「東洋のカリブ構想」

“The Caribbean of Asia Concept”

～東アジアのクルーズ拠点形成を目指して～

【概要版】

2018年3月
沖縄県

「東洋のカリブ構想」
“The Caribbean of Asia Concept”
～東アジアのクルーズ拠点形成を目指して～

沖縄県 OKINAWA PREFECTURE

（1）「東洋のカリブ構想」の目的・効果

世界のリーディング産業であるクルーズ産業は、県経済に大きく貢献する重要な産業であり、クルーズの振興を図ることは観光行政にとって極めて重要な施策である。そのため、沖縄のクルーズ振興の施策を「東洋のカリブ構想」として、国内外へ発信する

① 世界中の多くのクルーズ船社、船舶代理店、旅行社、港湾関係者などの沖縄への関心を喚起する
② アジア・パシフィック地域はもとより、世界中のクルーズ船の寄港へつなげる
③ 沖縄の潜在的な魅力（自然、文化、人口増加地域）から、多くの投資を呼び込む　等

（2）クルーズエリアとしての沖縄の強み

① 香港など中国南部へクルーズ市場が拡大していることによる沖縄の地理的優位性
② 亜熱帯の豊かな自然、歴史、文化、多様なイベントや体験メニュー　等

（3）沖縄のクルーズを取り巻く状況

① クルーズ船寄港回数の増加（2012年の125回から、2017年には515回と、5年間で約4.1倍）
② クルーズ船による入域外国人観光客数の増加（2012年の146,800人から、2017年には888,300人と、5年間で約6倍）
③ 「官民連携による国際クルーズ拠点」形成においてクルーズ船社であるカーニバル社やゲンティン香港の２社が沖縄への投資を決定
④ 港湾整備の進展（クルーズ船受入にかかるバースやターミナル等の整備が加速）等

（4）沖縄県内の港湾整備のスケジュール

① 沖縄県内の港湾整備が進展しており、2020年にはハード面での受入許容量が増加
② 将来に向けて、カリブ海におけるクルーズ船社による「グランドターク島」のような大規模開発について、船社及び関係機関等と意見交換していく

那覇港	泊ふ頭地区８号岸壁（水深10m 延長372.5m）（16万トン級（全長335m程度）対応） 新港ふ頭地区９号１０号（水深13～15m 延長800m）（20万トン級対応） 新港ふ頭地区１２号１３号（水深12m 延長430m）【未整備】	
本部港	本部地区岸壁（水深10m 延長420m）（20万トン級対応）【整備中※】	※2020年供用予定
中城湾港	新港地区岸壁（水深10～13m 延長445m）（16万トン級対応）	
石垣港	新港地区岸壁（水深10m 延長420m）（20万トン級対応）【整備中※】 新港地区岸壁（水深12m 延長410m）（14万トン級対応）【未整備】	※2018年暫定供用予定（7万トン級対応）
平良港	漲水地区岸壁（水深10m 延長420m）（14万トン級対応）【整備中※1】 漲水地区岸壁（水深10m 延長340m）（11万トン級対応）【整備中※2】	※1 2020年供用予定 ※2 2017年12月より暫定供用中（5万トン級対応）

（5）「東洋のカリブ」形成に向けて（東アジアのクルーズ拠点形成の取組み）

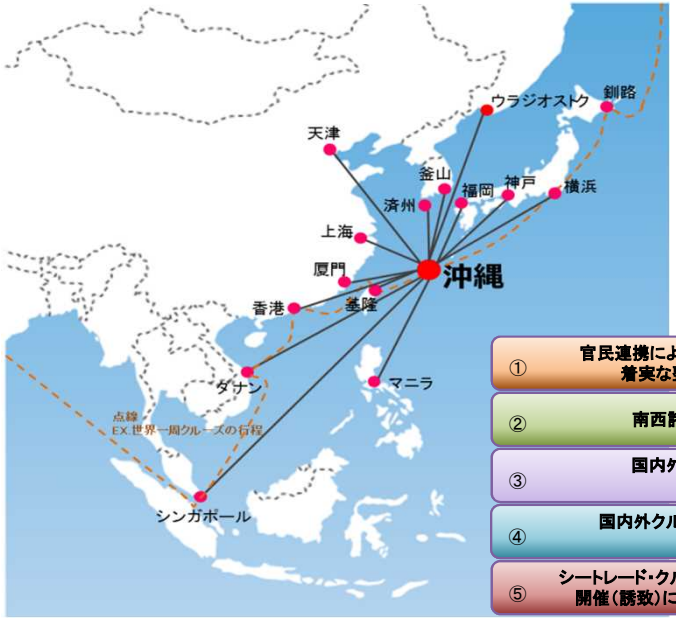
【情報発信、イメージ戦略】
- 沖縄の「東洋のカリブ構想」を国内外に強力かつ持続的に発信し、クルーズ振興における沖縄の将来ビジョンを提示する
- アジアパシフィック地域のクルーズ商談会を積極的に誘致し、クルーズ拠点としての認知度の向上を図っていく

【受入、誘致の方針】
- 継続的なクルーズ商談会への参加、県内のクルーズ促進協議会等との情報共有、船社等のキーパーソンとの面談、船社訪問、ＦＡＭツアーを実施する
- カジュアル、プレミアム、ラグジュアリーなどのグレード、港湾容量に基づくクルーズ船の誘致を行う
- 亜熱帯の山々を持つ魅力的な離島をテンダーボートで移動するクルーズスタイル、小規模離島などに上陸するエクスプローラー型のクルーズ船の誘致を行う
- クルーズ船客の満足度の向上、県全体への経済効果の波及のため、県内の様々な地域、観光資源を周遊するコースの造成に努める

【沖縄発着クルーズの推進】
- 段階を踏んだクルーズ船の発着港、拠点港、母港化に向けた取組みを行っていく
- 沖縄でのターンアラウンド港化を推進していく

【要請活動】
- 県内港湾の着実な整備や、ＣＩＱ等人員体制・機材の整備等について、政府等へ要請していく

（6）「東洋のカリブ構想」のイメージ



Be. Okinawa
美しい自然と温かい人たちに囲まれて、
～本来の自分を取り戻せる島～

① 官民連携による国際クルーズ拠点及び県内港湾の着実な整備等による寄港地開発の推進
② 南西諸島周遊クルーズの誘致・推進
③ 国内外との豊富な航空路線活用したフライ＆クルーズの推進
④ 国内外クルーズ船の発着港、拠点港、母港化への推進
⑤ シートレード・クルーズなどのクルーズ商談会の沖縄での開催（誘致）によるクルーズ拠点としての認知度向上